



このとり通信

No.93

発行日：2018年1月10日 編集：広報委員会 <http://www.hacsw.or.jp/>

新年を迎えるにあたり ～地域共生社会と社会福祉士への期待～



一般社団法人兵庫県社会福祉士会 会長 岡本 和久

みなさん、あけましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。

さて、2017年は、みなさんはどのような1年でしたでしょうか。7月には九州北部に集中豪雨、10月にも2度の台風が上陸し、自然被害をもたらしました。また、社会福祉士会では、2月に近畿ブロック奈良大会、6月に福島全国大会、7月にソーシャルワーカーデー、10月にSW関連5団体合同研修、11月に西はりまセミナーなど、様々なイベントや研修会が開催されました。また、2018年度は「地域共生社会」が大きくクローズアップされます。社会福祉法改正による「地域共生社会」の位置づけや介護保険法改正による「共生型サービス」の新設、生活保護法の改正などが予定されています。国は団塊の世代が75歳を迎える2025年に向け大きな制度改正を進めており、私たち社会福祉士への期待も高まっています。

本会では、組織力向上のため「兵庫県社会福祉士会2020・5ヵ年発展計画」の推進に取り組んでおり、本会の公認キャラクターとして「兵之助くん」が新たに誕生しました。また、入会促進キャンペーンを行うとともに、新入会員に対する説明会「はじめのいっぽ♪」を開催、地区ブロックでは「集い場」を拡大しています。みなさんのおかげで、2017年12月に会員数は1500名から1600名となりました。ありがとうございました。

私たち社会福祉士は、地域共生社会の実現に向けて、より一層権利擁護や自立支援に取り組んでいく必要があります。

最後に、本年は戌（いぬ）年です。戌年の方は、義理人情に厚く、正義感が強く、誠実で人を裏切らない方です。一方で、お人よしで神経質、他人から干渉されることを嫌う面もあるそうです。本年も戌（いぬ）のように多くの方に愛される会になりますよう一層努力してまいります。みなさんお一人おひとりのご活躍をお祈りしています。

目次

- 会長 新年の挨拶…………… 1
- 特集
生涯研修制度 認定社会福祉士について… 2～3
- お知らせ
2018年度成年後見人養成研修(認証研修)について… 4
おめでとう…………… 4

- 報告
兵庫県社会福祉セミナー…………… 4～6
独立型社会福祉士実践報告会～経営編～… 6～7
専門職のためのストレスケア講座… 7～8
西はりまプレミアムフライデー… 8
- 委員会だより…………… 9～11
- ブロックインフォメーション… 12～13
- メーリングリストとは…………… 14
- 事務局情報…………… 15～16



生涯研修制度&認定社会福祉士

【特集】

入会されたばかりの方も、そうでない方も、“今ひとつよくわからない”という声が絶えない生涯研修制度と認定社会福祉士について、簡単に紹介します。

生涯研修制度

生涯研修制度は社会福祉士会に所属する社会福祉士が、自ら研鑽を重ねていくことを目的としており、「基礎課程」と「専門課程」の2つの課程があります。

◆ 基礎課程

「基礎課程」は、入会してはじめて受講する研修課程です。基礎課程は、基礎研修Ⅰ、基礎研修Ⅱ、基礎研修Ⅲの3つの課程からなり、基礎研修Ⅰから基礎研修Ⅲまでのプログラムは、公益社団法人日本社会福祉士会が構築したものです。基礎研修Ⅰから基礎研修Ⅲの順で受講し、3年間で受講修了が目安です。体調不良や業務の都合等により、全科目を履修できなかった場合は、翌年度以後に再履修して埋め合わせることもできます。ただし、認定社会福祉士を取得する場合は、基礎研修Ⅰの受講を開始した年度から6年度以内に基礎課程全てを修了することが必要となります。基礎研修Ⅰは「社会福祉士の専門性を考え、倫理を学ぶ研修」、基礎研修Ⅱは「広範囲な実践を学ぶ研修」、基礎研修Ⅲは「自身の実践を振り返り言語化したり、後進育成の研修」となっています。



◆ 専門課程

「専門課程」は、基礎課程を修了した会員が自ら研修計画を立てて、受講していく課程です。社会福祉士であれば共通に必要な内容である「共通研修」と働く分野領域によつての専門的な内容である「分野研修」の2つの研修に分けられます。また、「スーパービジョン」も研修として扱っています。

専門課程は、それぞれの区切りごとに、第1期専門課程、第2期専門課程・・・として、社会福祉士である限りは研鑽を積み重ねる課程です。必要な単位数を修得したら、課程修了の申請をします。

認定社会福祉士制度

●認定社会福祉士とは

社会福祉士及び介護福祉士法の定義に定める相談援助を行う者であって、所属組織を中心にした分野における福祉課題に対し、倫理綱領に基づき高度な専門知識と熟練した技術を用いて個別支援、他職種連携及び地域福祉の増進を行うことができる能力を有することを認められた者をいいます。

●認定上級社会福祉士とは

社会福祉士及び介護福祉士法の定義に定める相談援助を行う者であって、福祉についての高度な知識と卓越した技術を用いて、倫理綱領に基づく高い倫理観をもって個別支援、連携・調整及び地域福祉の増進等に関して質の高い業務を実践するとともに、人材育成において他の社会福祉士に対する指導的役割を果たし、かつ実践の科学化を行うことができる能力を有することを認められた者をいいます。

【具体的な活動場面や役割のイメージ】

	認定社会福祉士	認定上級社会福祉士
活動	<ul style="list-style-type: none">・ 所属組織における相談援助部門で、リーダーシップを発揮。・ 高齢者福祉、医療など、各分野の専門的な支援方法や制度に精通し、他職種と連携して、複雑な生活課題のある利用者に対しても、的確な相談援助を実践。	<ul style="list-style-type: none">・ 所属組織とともに、地域（地域包括支援センター運営協議会、障害者自立支援協議会、要保護児童対策協議会等）で活動。・ 関係機関と協働し、地域における権利擁護の仕組みづくりや新たなサービスを開発。・ 体系的な理論と臨床経験に基づき人材を育成・指導。
役割	<ul style="list-style-type: none">・ 複数の課題のあるケースへの対応・ 職場内のリーダーシップ、実習指導・ 地域や外部機関との窓口、緊急対応、苦情対応・ 他職種連携、職場内コーディネートなど	<ul style="list-style-type: none">・ 指導・スーパービジョンの実施・ 苦情解決、リスクマネジメントなど組織のシステムづくり・ 地域の機関間連携のシステムづくり、福祉政策形成への関与・ 科学的根拠に基づく実践の指導、実践の検証や根拠の蓄積
分野	高齢分野、障害分野、児童・家庭分野、医療分野、地域社会・多文化分野	自らの実践に加え、複数の分野にまたがる地域の課題について実践・連携・教育

わかったような、わからないような…という方が多いかもしれません。でも、大丈夫！基礎研修Ⅰの中でも説明がありますので、未受講の方は是非お申込みください。このとり通信春号にて基礎研修受講案内を掲載しますので、要チェックです♪



◎ 2018年度成年後見人養成研修(認証研修)について

2018年度に開催を予定しております「成年後見人養成研修(認証研修)」は、認証有効期限が2019年5月のため、2018年度同研修の開催は、下記の要件となります。ご確認ください。

【受講対象(受講要件)について】

2018年度開催の研修において、受講対象(受講要件)の1要件「基礎研修Ⅰを受講済みである者」となりますが、2019年度以降の受講要件については未定です。

【修了要件について】

2018年度受講の修了できなかった科目の再履修はありません。事前課題の提出と面接授業100%の出席、修了評価の受講が修了要件となります。

詳細は、2018年2月発行予定の第17回総会議案集に同封予定です。

おめでとうございます！

10月27日に開催された第66回兵庫県社会福祉大会において、民間社会福祉団体関係功労者として兵庫県社会福祉協議会会長表彰を、本会の中山貴之副会長が授与されました。

誠におめでとうございます。これからの益々のご活躍をお祈り申し上げます。



行事 報告

第17回 兵庫社会福祉セミナー IN 西はりま

報告者 西はりまブロック / 塩尻 点

開催日 2017年11月11日～11月12日

会場 11月11日 姫路飾磨市民センター 11月12日 姫路・西はりま地場産業センター

記念講演：関西福祉大学 社会福祉学研究所 社会福祉学部教授 中村 剛氏

シンポジスト：NPO法人はなのいえ理事長 内海正子氏

NPO法人ほほ笑の森理事長 梅原智恵美氏

まちの福祉コーディネーター 中嶋 僚氏

NPO法人スマイルアシスト理事長 久永和彦氏

コーディネーター：一般社団法人兵庫県社会福祉士会 会長 岡本和久氏
助言者：関西福祉大学 社会福祉学研究科 社会福祉学部教授 中村 剛氏

【研修・イベント概要】

ソーシャルワーク専門職である社会福祉士は、地域共生社会実現の波のなかでどのような実践能力が問われるのか、また、その実践の拠り所となる社会福祉の理念を現に実践されている皆さんと一緒に多角的に考えたかったのでセミナーのタイトルを「社会資源創っちゃいました」としちゃいました。

社会福祉士が創出しなければならない社会福祉固有の価値、実践の意味を中村氏の基調講演にて確認共有することができました。シンポジウムでは、4名のシンポジストの発題並びに会場との質疑応答を通じて和やかな雰囲気の中、ソーシャルワーク機能を社会福祉士が発揮するためのヒントを得ることができたのではないのでしょうか。

翌日は、独立型社会福祉士支援委員会による倫理学習、ソーシャルワーク研究委員会によるソーシャルワーク理論学習を分科会形式で行い、ワークを通じて日頃の実践の振り返りを行いました。

【印象に残ったキーワード】

- ・共生社会実現に向けて社会福祉士が創出しなければならないものは、社会的な価値である。(中村)
- ・地域に必要なことをはじめると地域が変わります。社会福祉士って何してるのかわからない。(内海)
- ・病院で死ぬのではなく、普通の暮らしの中で看とられる。(梅原)
- ・あなたはどんな社会資源ですか。その解決に向けてどんな手段を提案できますか。(中嶋)
- ・生活、日常を法的にアプローチする。社会資源どうしの繋がり。(久永)

【所感等】

「社会福祉士って何してるのかわからない」というシンポジストの疑問を真正面から受けて立ちましよう！素晴らしいエールですね！

ヤマサ蒲鉾工場見学はいかがでしたか。西はりまにはまだまだたくさん紹介したい人やスポットがたくさんあります。是非、またおいで下さい。

第一分科会 「ソーシャルワークの倫理について考えよう」

報告者 独立型社会福祉士支援委員会

【研修・イベント概要】

ソーシャルワークに行き詰まった事例を題材に、「社会福祉士の倫理綱領・行動規範」を使って「どうして行き詰まったか」「どこを修正するか」などをグループワークしました。段階を追うごとに時間を区切ってワークし、最終的に各グループの発表を通じて全員で意見・感想をシェアしました。



2017年11月 兵庫県福祉セミナー in 西はりま 第一分科会
「ソーシャルワークの倫理について考えよう」

【所感等】

「倫理綱領で事例検討は新鮮」「いろんな意見が聞けて時間を短く感じた」との感想をいただき、主催委員会も手応えを感じつつ無事終了にホッと胸をなで下ろしています。

第二分科会 「ソーシャルワークの理論について基本に戻ってみませんか」

報告者 ソーシャルワーク研究委員会

【研修・イベント概要】

高齢者・障害者分野の混ざった架空事例を使用し、ソーシャルワークの理論を実践に照らして確認する。

【所感等】

架空事例なので、「できすぎ」のところはもちろんありましたが、「ああ、私も言ってるわ」「これ、何気なくやってるよね」などと事例のなかの支援者の言動に日常の自分たちの実践を重ね合わせていただくことができたと思います。自分たちが普段「やっている」「言っている」ことなのですが、では「何を意図して」「どんな理論に基づいて」いたのかを改めて考えると「その時点ではそこまで考えていなかった」ことが多いのが現状かもしれません。事例の実践を理論にあてはめてみると「そうか!」「それか!」と声が上がっていて、理論が教科書の中だけではなくとても身近なものだと実感してもらえたのではないかと思います。

当委員会では、こんな「そうか!」を少しずつ積み重ね、「専門職としてのソーシャルワーカー」であるための日々の振り返りを共有する場を提供できればと考えています。

行事 報告

『独立型社会福祉士実践報告会～経営編～』

報告者 独立型社会福祉士支援委員会

今年も「実践報告会～報告編」開催しました。台風が近づく中、2017年9月16日、姫路市広畑市民センターにて、参加者27人で大阪社会福祉士会からの参加者もおられました。

後半は、社会保険労務士と税理士の先生方はじめ法人開業者、個人開業者含めた専門職で各テーブルに分かれグループディスカッションの時間を取り、開業、事業所経営などにまつわる質疑応答や意見交換で盛り上がり楽しく交流を図ることができました。

*当日は駐車場の満車状態が続き、そのため参加できなかった方もおられたようです。大変申し訳ありませんでした。

参加者の方より感想をお寄せいただきました。

【感想】

独立型社会福祉士事務所をされている、岸さんの話を聞いてきました。台風による大雨にもかかわらず、興味をお持ちの方がたくさん参加されていました。居宅介護支援事業所開設時に、ひと月で30件ほどの新規を受け、眠る時間がほとんどなかったというエピソードに、「これだけの依頼が一気に来たら、私は途中でキャパオーバーになるだろうな」と思いながら聞いていました。成年後見で大変な目にあったという話をされると、「相当覚悟がないとやっていけないかも…」と、それだけでくじけそうになりました。

岸さんの話のあと、岸さんが契約されている税理士事務所、社会保険労務士さんの話がありました。税理士事務所の方の話は、既に独立型社会福祉士事務所をされている方にも参考になったようでした。続いて岸さん、税理士事務所の方、社会保険労務士さん、独立型社会福祉士事務所をされている方が各テーブルに分かれ、参加者がそれぞれ話したい人のところに集まって話をする時間が設けられました。私も今後の参考に、聞きたいことを全て質問しました。

終了後、喫茶店に場所を変えての懇親会にも参加させていただきました。

既に独立型社会福祉士事務所をされている方の、「こういうことをやっていきたい!」という熱い思いに触れ、「私の今の環境でどんなことができるのか、思いを形にするにはどうしたらいいのか」と、考えながら聞いていました。

「すべてを見せます」とチラシに書かれていたとおり、立ち上げ時のことから収入や運営について事細かに教えていただき、参加費を払っても十分満足のいくものでした。今後、他の独立型社会福祉士事務所をされている方の話が聞ける機会があれば、参加したいと思います。



2017年9月
独立型社会福祉士実践報告会～経営編～

行事 報告

専門職のためのストレスケア講座 (援助者のためのストレス解消法)

報告者 参加者

開催日 2017年9月23日・24日
会場 曹洞宗 法福山「東漸寺」
講師名 曹洞宗 東漸寺 住職 不破一浩氏
関西学院大学 人間福祉学部教授 池埜聡氏

【研修・イベント概要】

9月23・24日の両日、秋晴れの下、丹波市の東漸寺にて「専門職のためのストレスケア講座（援助者のためのストレス解消法）」が行われました。本研修は専門職自身のバーンアウトから身を守るため、自身のストレスケアについて理解し、曹洞宗 東漸寺での宿泊を通して禅とマインドフルネスを体験するというものです。講師の不破住職は元福祉職・社会福祉士でもある方で、禅について日頃から馴染みのある福祉用語を織り込みながら柔らかな口調で語って下さり、大変、心

地の良いお話でした。禅の心の持ち方は雑念の多い生活を戒め、姿勢を正し、呼吸を整えることで、人としての平常心を取り戻せるというものです。これによって将来の道は明るく大きく開けるということを強調されていました。

2日目は、池埜聡氏の「マインドフルネスの基礎と実践応用」をテーマにマインドフルネスの効果と実践方法を講義して頂きました。「マインドフルネス」と聞くと難しいものだという印象を抱いていましたが、五感をフルに活用し、その感覚を意識することで、自身の思考と行動の変化がもたらされ、開放的な気持ちで生きられることを学びました。

【所感等】

講義以外にも地元の国領温泉への入浴、お替りがなくなるほど、大好評だった住職自ら調理された「特製薬膳カレー」、朝のお勤め後に味わった朝粥、朝晩の座禅体験を通して五感をゆっくりと感ずることができ、非日常的な時間を過ごすことができました。

行事 報告

「地域と社会福祉士（私）の関わり～小椋さんと 月見ワインの会～西はりまプレミアムフライデー」

報告者 西はりまブロック / 塩尻 点

開催日 2017年9月29日
会場 わいん酒屋Ragloppa（ラグロッパ） 姫路市勝原区
講師名 小椋智子（社福）ゆたか会 小規模多機能居宅介護事業所どっこいしょ所長
兵庫県社会福祉士会 広報委員会

【研修・イベント概要】

「あなたにとって地域って？」という小椋さんの問いかけで今夜のつどいは始まりました。小椋さんの言葉を選んだ素敵な語り、お店の雰囲気、ワインに酔う前に、地域の一員となって共に生きる社会福祉士小椋智子さんに酔ってしまいました。

【印象に残ったキーワード】

- ・私は専門職が使う「地域づくり」という言葉は好きではありません。
- ・地域を作るのは専門職ではなく、住民である。
- ・地域は作るものではなくもともとそこにある。その地域・そこに住む人を大切に思い、同じ思いで一緒に歩み続けることが私の考える地域福祉。

【所感等】

地域で生きづらさを感じている人が当たり前のように寄り添いながら支援していく。それが社会福祉士の役割かな。

小椋さんとの出会いに乾杯！



委員会 ① だより

地域包括支援センター支援委員会

委員長 山内賢治

<委員会 会場>

兵庫県福祉センター 5階
兵庫県社会福祉士会事務局

<委員会内容>

委員会開催内容：約2～3か月に1回、10名程度の参加

委員会では各地域や国・保険者など行政の情報を交換し、それぞれの職場での質の向上を図っています。委員会活動を通じてセンター同士の横のつながりや経験の浅いメンバーの勉強の場となっています。

また、県下の地域包括支援センター初任者向けに研修の企画をするなど、地域包括支援センター全体のスキルアップの検討を行って

います。

県の委託事業であるセンター職員向け困難事例対応力向上研修の運営や、三職種団体連絡会（県介護支援専門員協会、県看護協会）を開催し、幅広く活動をしています。また、ブロックエリアでの交流会を開催するなど、限られた地域だけでなく、広い視野を持ちながら活動しています。

<今後の予定>

県からの委託事業である困難事例対応力向上研修の企画・運営
研修予定：2018年1月12日（金）A研修 神戸、
同23日（火）B研修 神戸

委員会 ② だより

こども家庭支援委員会

委員長 田邊哲雄

<委員会 会場>

兵庫県福祉センター 5階

<委員会内容>

当委員会の主な活動内容は、スクールソーシャルワーク研修の企画・運営です。スクールソーシャルワーカー（以後SSW）はこれからさらに配置が拡充され、人材育成や確保が必要となることが予想されますし、実際にSSWの仕事に関心のある方も多くいらっしゃいます。SSW研修のほかにも取り組みたいテーマはありますが、今のところ委員長

はじめ委員のメンバーみんなで意見を出しながら、研修が成功するよう協力して活動しています。

参加メンバーは、児童分野に興味のあるメンバーが委員となって活動しており、参加要件や経験等関係なくどなたでも参加していただけます。

今年度も2018年2月24日～2月25日の日程で兵庫県社会福祉士会（こども家庭支援委員会）主催のスクールソーシャルワーク研修を実施予定です。半羽先生と大塚先生に研修講師としてきていただき、実践現場で役立つよ

うな研修となるようがんばって企画していますので、ぜひたくさんの方に参加していただきたいと思います。

<今後の予定>

1月21日（日）10:00～12:00

2月3日（土）10:00～12:00

2月24日（土）～2月25日（日）（研修当日）



実習教育支援委員会

委員長 乾 なち子

<委員会内容>

当委員会は、社会福祉士実習のあり方を検討するとともに、社会福祉士実習指導者養成講習会を開催することを目的に組織された委員会です。委員会のメンバーは社会福祉士の大学実習担当教員、施設・機関の実習指導者及び実習指導をまだ経験していない者もいます。

また、「大学との連携事業」では、神戸学院大学、神戸親和女子大学、関西学院大学等の教室に出向き、学生と交流を持ち、生の社会福祉士像や社会福祉士の魅力を伝えていま

す。また、実習に臨むポイントなども伝えていきます。今年は、初めて「優秀実習施設表彰」を実施しました。実習指導者個々のスキルアップや組織として実習生指導にあたる体制強化を支援し、さらなる社会福祉士の役割周知や認知度アップを目指しています。

<今後の予定>

県福祉センター 事務局にて開催します。

2018年1月18日（木）19:00～

2018年2月15日（木）19:00～



独立型社会福祉士支援委員会

委員長 石原 知佳子

<委員会 会場>

兵庫県福祉センター内会場

<委員会内容>

「独立型社会福祉士」は国家資格とその専門性を武器に地域で活躍する独立開業者です。

当委員会では独立開業者に限らず将来開業をお考えの方や独立型に関心のある方へ向け

て、ネットワークづくりや資質向上を目的とした研修事業、メーリングリストを利用したメールマガジンの定期配信などによる啓発活動を行なっています。

来るもの拒まずの委員会ですので、独立開業を目標にお持ちの方や「何それ？」と興味を持たれた方、既に開業されている方もどうぞお気軽にのぞきにきてくださいね。また、メーリングリスト登録希望の方もご一報いた

できれば登録手続きを案内致します。

申込先 hsasao.fukushi@gmail.com(担当：笹尾)

<今後の予定>

独立型社会福祉士実践報告会
日程・会場未定

独立型社会福祉士支援委員会メールマガジン会員登録の案内

当委員会では情報提供ツールとして「独立型社会福祉士支援委員会メールマガジン会員登録」を常時受け付けております。登録希望をいただくとメーリングリストへ希望のメールアドレスを登録し、

- メールマガジン「夢ふうせん」の季刊配信
 - 独立型社会福祉士に関する研修・地域・活動情報などの配信
- などの享受に利用いただけます。

登録希望の方はメールにて以下についてご記入の上送信してください。

- ① 件名に「独立型メルマガ会員希望」と入れてください。
- ② 本文に名前、会員番号、独立型社会福祉士養成研修の受講歴の他、「開業済み」「近日開業予定」「検討中」のいずれかをご記入下さい。
- ③ 開業済みの方は開業年月日、屋号をご記入下さい（差支えない範囲で構いません）。
- ④ 申込先 hsasao.fukushi@gmail.com（担当・笹尾）

多くの方のみなさんの参加を心よりお待ちしております。



2017年2月 独立型社会福祉士実践報告会 in 三田
「成年後見人が地域包括ケアシステムの中で担うべき役割を考える」



2011年度以降の当委員会主催事業で必ず同時開催される「交流会」※旧「茶話会」を含む

神戸ブロック (ブロック長 増山 陽子)

あけましておめでとうございます。

神戸ブロックの活動について、お知らせいたします。

昨年11月19日の朝から夕方まで、まちかど相談会を神戸駅近くの採光ドームで開催しました。チラシを500部、ノベルティーを1,000部配布しました。また、市民から13件の相談がありました。ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。

＜今後の予定＞

2月10日(土)の13時30分～16時30分に相談援助のワークショップという研修会を北区の特別養護老人ホーム六甲の館で開催します。講師は兵庫県医療ソーシャルワーカー協会会長の谷 義幸氏です。その後、六甲の館の施設見学会をし、17時30分から第2回ル・リアン(集いの場)を、研修会場近くで開店されている就農レストラン『ジリオ・ビアンコⅡ』(社会福祉法人白百合学園)で開催いたします。詳細はチラシをご覧ください。

本年も、よろしくお願ひします。



阪神ブロック (ブロック長 中原 克子)

当ブロックでは、2ヶ月に1回役員会を開催するとともに、地域部会の活動を中心に、会員の交流や学習の場づくりを推進しています。

昨年、11月に西宮の親子カフェにて「集いの場」を開催しました。小人数でしたが、親子連れで参加され、ほっこりとした交流ができました。今後、伊丹・宝塚・三田部会、尼崎部会、川西・猪名川部会でも集いの場の開催を検討中です。

12月には西宮市総合福祉センターにて開催された「輪イ和イまつり」にブースを出展。模擬店やまちかど相談会を開催しました。

これからも様々な研修や交流の場を企画していきますので、ぜひ参加のほどよろしくお願ひいたします。

＜阪神ブロックメーリングリスト登録のお願い＞

阪神ブロックの方で、当ブロックのメーリングリスト登録をしていない方は、担当者宛にメールを送信し、アドレス登録をお願いいたします。

申し込み・問い合わせ先：sw_hanshin@yahoo.co.jp

西はりまブロック (ブロック長 塩尻 点)

当ブロックでは顔の見える関係づくりを基本に、交流会、研修会などの活動を行っています。西はりまブロックは広い圏域です。そして地道に素敵な活動を展開している仲間がいます。「あっ！あの活動は彼がやってるんだ」「あのの人に会いたいな」という出会い、語ることによる新しい気付き、一緒に創り出していく喜びを大切にします。

ブロックは本会活動の窓口です。本会との連携のもと5ヶ年計画の推進を図り、職能団体としての安定的な発展並びに社会福祉士の活動を展開させていきましょう。

「西はりまプレミアムフライデー」

メーリングリストやFacebookで案内しておりますが、ブロックでは基本毎月最終金曜日にプレミアムフライデーを開催し、つどいの場をつくり交流を深めています。会員、非会員、これから資格を目指す方などお誘い合わせの上どうぞ。出会いを大切に楽しい時間を過ごしましょう。

連絡先 塩尻 点 (しおじり ともる) ts.shio@nike.eonet.ne.jp

<今後の予定>

西はりまプレミアムフライデー 原則 最終金曜日

※メーリングリスト登録方法

- ・ hacswnishiharima@gmail.comへ 氏名、メールアドレスを記載メールを送ってください。
- ・ hacswnishiharima@googlegroups.com から登録完了メールを送付いたします。

※Facebook

- ・ PCスマホなどから「西はりま地区ブロック」と検索してください。
- ・ イベント、研修案内などアップしますのでご参照ください。
- ・ 「いいね」「フォロー」よろしくお願いします。



うすき行政書士事務所

(うすき社会福祉士事務所併設)

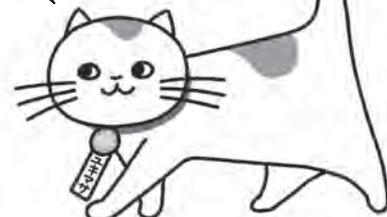
いずれかに当てはまる方は是非一度お問い合わせください！

- 福祉・介護サービス事業所を立ち上げたい
- 新しく会社やNPOを興したいと考えている。
- 認定NPO等の準備を考えている。
- 医療法人・社会福祉法人を設立したい。
定款変更・規則作りなど運営内容に助言がほしい
- 保育所・認定こども園をやりたい
- 成年後見を活用したほうがいい方がいる。
- 遺言書や相続に関する問い合わせを受けた。
- 遺産分割、相続手続きに悩んでいる。

《業務内容のご紹介》

・各種公益法人(社団・財団・社福・医療)の設立手続き ・株式会社、NPO法人など設立手続き ・障害福祉サービス事業の手続き
・介護・障害サービス等の設立手続き等 ・介護タクシーの許可取得 ・遺言書、遺産分割協議書作成
・相続対応や成年後見制度の活用など ・クーリングオフなどの内容証明郵便作成 ・訪問介護等の駐車許可申請などの自動車関係
・その他、契約書や覚書作成の事実関係業務 など (司法書士、社会保険労務士、税理士等と連携して業務を行うこともあります)

ご相談はこちらまで。
どこでも駆けつけます！



行政書士のマスコットキャラクター ユキマサくん

お電話はこちら！

0798-34-3999



090-9264-7594



gosoudan@usuki-office.com

うすき行政書士・社会福祉士事務所 (大口事務所 併設)

兵庫県西宮市本町7番15号

(阪神西宮駅南 徒歩5分 西宮えびす神社そば)

兵庫県行政書士会・兵庫県社会福祉士会 会員

※行政書士法第1条2行政書士は、他人の依頼を受け報酬を得て、官公署に提出する書類、その他権利義務又は事実証明に関する書類を作成することを業とする。(行政書士は業務独占です。行政書士以外の者が他人の依頼を受け報酬を得て業務を行うと行政書士法違反になります。)



メーリングリストとは



はじめに/メーリングリストの活用について

現在兵庫県社会福祉士会では、ひよこメーリングリストの運営をしています。登録すると便利なので、ご紹介させていただきます。

何ができるの？

登録者に対して一斉に同じ内容の文章を送信することができ、情報の共有が即座に行えます。また登録者は全員が発信者にもなることができ、発信者のトピックスについて登録者全員で双方向的なやりとりが可能になります。

事務局からは、日本社会福祉士会や関係団体、兵庫県下の事業所のイベント情報や求人情報などをタイムリーに発信しています。

登録していない方にはその情報は届きません。

注意点

- ・ひよこMLに登録しているアドレスを変更する場合は、ホームページの「お問い合わせ」からご連絡ください。アドレス無効によりエラーで戻ってくる場合は、メーリングリストから削除させていただきますので、予めご了承ください。
- ・携帯電話のメールアドレスでも登録は可能ですが、迷惑メール設定等によりメール受信ができない場合もあります。パソコンやフリーメール等での登録を推奨しています。

メーリングリスト登録方法



〈登録方法〉

- ①兵庫県社会福祉士会のホームページ (<http://www.hacsw.or.jp>) にアクセスする。
- ②ページ左の「メーリングリスト」というリンクにアクセスする。
- ③「メーリングリストについてよくあるご質問」をご一読ください。
- ④必要事項を入力し、送信する。

以上の手順を踏んでいただき、事務局で会員かどうかの確認の上で登録いたします。会員確認する都合上、即日登録できないことをご了承ください。

QRコードはこちら



事務局情報

第17回総会(予算総会)開催について

下記の通り開催いたします。詳細につきましては後日ご案内いたします。

開催日：2018年3月24日（土）

会 場：兵庫県福祉センター 1階

会 員 数

正会員 1,601名（2017年11月末現在）

みなさんの周りにいる社会福祉士の方に入会をお誘いください。

職場を異動、または転居された場合は、住所変更届を必ず日本社会福祉士会へ提出して下さい。住所変更届等様式は、日本社会福祉士会のホームページからダウンロードできます。

※このとり通信は、メール便にて発送しています。郵便局への転居届では転送されませんので、本会事務局までご連絡ください。

理事会報告

2017年度 第5回理事会

日 時：2017年9月30日

場 所：兵庫県福祉センター 202

出 席：理事 10名 監事 1名

<審議事項>

- 日本社会福祉士会・事務委託解除について
- 出張旅費規程の改正について
- 2017年4月1日～8月末予算収支及び貸借

対照表について

- Tポイントについて

<報告事項>

- 2017年度都道府県社会福祉士会会長会議及び全国生涯研修委員会議について
- 苦情解決委員会について
- 生涯研修センター運営設置規程について
- 法人後見の検討に関すること

2017年度 第6回理事会

日 時：2017年10月28日

場 所：兵庫県福祉センター 202

出 席：理事 13名 監事 1名

<審議事項>

- 2017年度上半期決算について

<報告事項>

- 選挙管理委員 応募状況について
- 規程番号の整理について
- 組織力向上事業
- 事務局員募集について

2017年度 第7回理事会

日 時：2017年11月25日

場 所：兵庫県福祉センター 202

出 席：理事 11名

<審議事項>

- 2017年度補正予算について
- 2018年度事業計画(案)及び予算方針(案)・予算(案)について

○2018年3月総会 記念講演 講師について
<報告事項>

- 事務局体制の強化
- 苦情解決委員会の進捗状況
- 担当理事の進捗状況について

今後の予定

2017年度 理事会・総会のご案内

【理事会開催日程】

- 第9回 理事会 1月20日(土)
- 第10回 理事会 2月17日(土)
- 第11回 理事会 3月24日(土)

【総会開催日程】

- 第17回 総会 3月24日(土)(2018年度予算)

協議事項等がありましたら、各理事又は事務局へご連絡ください。



新職員紹介

2017年11月13日付

事務局員 井上 一三 就任
1956年神戸市生まれ。うお座。
社会福祉士・学校心理士・
上級教育カウンセラー・ガイダンスカ
ウンセラー。
趣味はSF映画と横溝正史の探偵小説。
どうぞよろしくお願ひいたします。

2017年11月21日付

事務局員 本多 武史 就任
1962年大阪府生まれ。しし座。
神戸市在住の社会福祉士です。
長女が昨年結婚して、9月に初孫が誕
生、おじいちゃんとなりました。
みなさん宜しくお願ひいたします。

..... 事務局連絡先

【事務局】

一般社団法人 兵庫県社会福祉士会
〒651-0062
神戸市中央区坂口通2-1-1
兵庫県福祉センター5階
電話：078-265-1330
FAX：078-265-1340

【事務局員】

- | | | |
|------|----|-----|
| 事務局長 | 西野 | 佳名子 |
| 事務局員 | 中村 | 智穂美 |
| 事務局員 | 北野 | 和香子 |
| 事務局員 | 胡中 | 智礼 |
| 事務局員 | 井上 | 一三 |
| 事務局員 | 本多 | 武史 |
| 事務局員 | 笹岡 | 久美 |
| 事務局員 | 萩原 | 美千紘 |

【事務局メールアドレス】

syadanhyogo@hacsw.or.jp

【ぱあとなあ兵庫事務局】

電話：078-222-8107
partner-jimu@hacsw.or.jp

【研修申込専用メールアドレス】

entry@hacsw.or.jp